

# ～地域に生きる～ すぎの子はったつ通信



## ～療育での取り組みから家庭での取り組みへ～

4月より療育が始まり、10ヶ月が経ちました。お一人おひとり個別の目標に合わせて療育を進めてまいりました。お子さまは『見てわかる!』『自分で出来てうれしい!』スモールステップで様々な支援のもと多くの成功経験を積み重ねて来られました。No.3では、療育で上手くいった取り組みをヒントに保護者様が「お家でも取り組んでみました!」と工夫された例を紹介させていただきます。

### 保護者向けの研修について

保護者の方に、お子さまについての理解を深め適切な支援の観点やその方法について学んでいただくことを目的としています。また、保護者同士の交流や情報交換なども行っています (\*^~^\*)

先日の保護者研修では、療育や家庭での取り組みについての気づきを発表しました!



### スケジュール



【お子さまのご様子】  
スケジュールに取り組む前は「無限に平日（学校のある日）が来る」と思っていたご様子で朝の段取りがスムーズにできませんでした。今は、見通し（「いつ休みなのか」）が一目でわかるように工夫することで頑張っています!



【保護者様より】

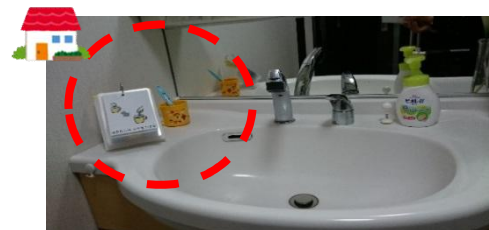
息子は自分の思った以上に日々困っていたり、悩んでいることに気づきました。だから、手間をかけてでもやろうと思いました! 支援グッズがあることで解決することは子どもにとってとても大きいことです。



### 身辺自立（はみがき）



【お子さまのご様子】  
お子さまの好きなキャラクターを持つところにつけておくことでハブラシを上手に持つことができるようになりました!  
また、手順書が扱いやすいように立ち位置に対して左側に手順書を配置することで手順書をめくることもスムーズにできています。



【保護者様より】

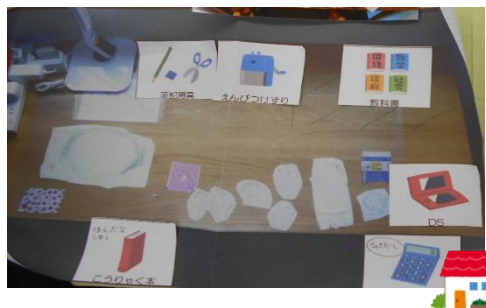
「いつかできるやろうし、まあいいか」と諦めていたところもありましたが、少し工夫することで本人が自力でできることがわかりました!  
家でもazと同じようにレイアウトにしました。



## 荷物の整理



【お子さまのご様子】  
お子さまと一緒に自己理解を深めながら、片づけが上手できる『ワザ』を考えています。イラストを使って、片づける場所を決めたり、『いつ片づけるのか』を日課をもとに決めました。視覚的な手がかりを使ってとても上手に机の整理整頓ができています。



【保護者様の声】  
事前に文献などを読んで、自分の中では息子を理解して、支援ができていたつもりになっていました。一人ひとりに合った支援の難しさに気づきました。まだまだ模索中ですが、工夫していきたいです。

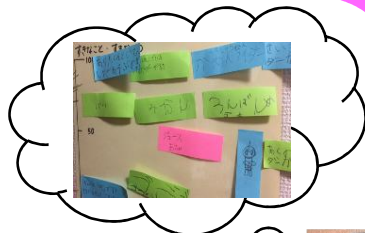


## 感情表出



【お子さまのご様子】  
これまで、ご本人の表出コミュニケーションのほとんどが状況説明で、お母さまが気持ちを尋ねると答えられる段階でした。その返答は「楽しい」ばかりで、その場で上手く自分の気持ちが伝えられず後でしんどさが出ることもありました。

【保護者様より】  
息子が自分の気持ちを素直に言うことが難しいことに気づきました。気づきがあったことで、その場で本人が自分で気持ちを伝えられるように、親がフォローできるようになりました。ポジティブな感情については自分から報告することが増えて、表現にもバリエーションが出てきました！



「すきなもの」を付箋に書いて家族でみくらべました



## お子さまが自分で作成した支援グッズ

【保護者様より】

以前は「何でこんなもできひんのやろ」と思っていました。療育を通して、子どものことがわかるにつれて、生活しやすくなりました。これからも改良していきたいです！



【お子さまのご様子】

自分から「作って欲しい」と言い出しました。自分で道具をそろえて学童で作って帰ってきました。療育で上手にできて「コレや！」と思ったのかもしれないです。手順書が楽しいと話していました。



最後までご覧いただきありがとうございました。本年度は、3回にわたって各事業所での取り組みやプログラム、また、それを踏まえて「お家でやってみました」をお伝えしました。いかがでしたでしょうか？保護者様やお子様ご自身による、お一人ひとりに合わせた支援は、どれも素晴らしく、通信では全て紹介しきれないほどでした。ご協力いただいた皆様には、この場をおかりして感謝を申し上げます。

今後も通信を通して、地域の皆様に役立つ情報を発信してまいりたいと思います。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

(社福)北摂杉の子会 児童発達支援部

